

日本共産党

神奈川県議会議員

上野たつや



35
才

「子どもたちに
あす
明るい未来を」

みなさんと一緒に住民要望実現へ

ごあいさつ

皆さまからの大きなご支援をいただき、2019年4月に神奈川県議会議員に初当選をさせていただきました。

1980年、柿原あつこ県議の誕生から40年ぶりとなる県議の議席の重みを実感しながら、議会活動、地域要望や住民運動に取り組み、あっという間に3年間が経過し、来年の統一地方選挙（2023年4月）まで1年を切りました。

新型コロナウイルス感染症が拡大する下で、医療・保健所体制など神奈川県の役割と重要性が改めて浮き彫りになった3年間だったと感じています。

だからこそ、神奈川県が役割を十分に発揮してもらうために、また、住民のみなさんの“いのちと暮らし”を守るために、引き続き全力を尽くしていく決意です。

Profile

上野たつやのプロフィール

幼少時代

青葉区で育ち、都筑ヶ丘幼稚園、横浜市立東市ヶ尾小学校に通う。小学校では少年野球チームに所属。



白球を追いかけた少年時代

誕生

福島県いわき市出身の父と栃木県栃木市出身の母のもと、佐藤家の長男として生まれる。



両親と兄弟と 真ん中の上が上野たつや

中学・高校時代

横浜市立市ヶ尾中学校ではバスケットボール部に、神奈川県立荏田高校ではテニス部に所属。

大学で栄養学を学ぶ

高校3年生で食と化学を学べる栄養学に興味を持ち、関東学院大学人間環境学部健康栄養学科で学ぶ。軽音楽部に所属し、バンドを組む。



ライブハウスでギターを奏でる

結婚と第1子誕生

2014年7月に結婚。妻の姓に改姓し、上野に。2016年1月に第1子誕生。

2019年 産業労働常任委員会・
ともに生きる社会かながわ推進特別委員会
2020年 建設・企業常任委員会・
ともに生きる社会かながわ推進特別委員会
2021年 厚生常任委員会
2022年 環境農政常任委員会・政調副会長

第2子誕生

2021年10月に第2子誕生。

保育園に就職

2010年、社会福祉法人あおぞらに管理栄養士として入職。あおぞら谷津保育園、あおぞら菅田保育園で9年間働く。労働組合（全労連・全国一般）や保育運動で活躍。仲間とともに、保育をよくするためには政治を変える必要性を学ぶ。



子どもたちのために美味しい給食を

県議会議員に

2019年に神奈川県議会議員に初当選。現在、環境農政常任委員会に所属。党県議団・政調副会長を務める。



県議会で初質問

Origin

上野たつやの原点

ー保育園での仕事について教えてください。

私は、保育所の管理栄養士として、9年間勤めました。「食育」と聞くと、「嫌いな食べ物が食べられるようにすることが食育」と、捉える方もいますが、それは取り組みの結果の一部だと思っています。

子どもたちが、季節の食材、行事食や郷土料理など、給食を通じて豊かな食体験を積み重ねることで、食べることそのものを「楽しい!」と感ずることができると。これが一番大切ではないかとの思いで仕事をしてきました。

ー子どもたちだけでなく、保護者との向き合い方も工夫されたとお聞きしました。

献立を決め、給食を作るだけでなく、「子どもの食」を中心に据えて、

管理栄養士として

保護者の方とお話しをすることもあります。

「本当は子どもとの時間をいっぱい作って、ゆったりと手作りのごはんを一緒に食べたい。でも、仕事の忙しさに追われて余裕がない」など、保護者の方からは切実な訴えが出されます。

管理栄養士であれば、食事の栄養バランスをお伝えするのも大切な仕事です。本来であれば「1日3食、一汁三



園児たちの目の前で魚をさばいての「食育」

現場に足を運び、みんなの声を聞き、一緒に考えてくれる上野さん

小鳩保育園 調理師 鈴木ゆかり

上野さんは、前職保育園管理栄養士の時から何事にも一生懸命に取り組んでいる姿が印象的でした。議員に当選されてもその姿勢は変わらず、全力で活動に取り組んでいる姿を拝見します。現場に足を運び、みんなの声を聞き、一緒に考えてくれます。そしてみんなに励ましの言葉もかけてくれます。私たちの思いを市政に届けてくれるそんな上野さんを信頼し、期待しています。

これからも子どもたちの明るい未来のために！そして、希望を託せる社会を実現するために！私たちは、上野さんを引き続き応援していきたいと思ひます。

子どもたちの食を守る



保護者と一緒に食を考える

菜をしっかり作りましょう」と、言う立場なのかもしれませんが…私が勤めていた保育所では、違った声掛けを行っていました。

「朝ごはんを作る予定が無ければ、お米を炊いておにぎりを作るだけでもまずは挑戦してみてもはどうでしょうか?」「ごはんと具沢山みそ汁があれば十分ですよ」などの声掛けをすると、

少し肩の荷が下りたような表情をされるのが印象的でした。

—どうして保育園を辞めて政治家を志すことに?

保護者との対話の中で、子どもと過ごす時間も取れないほどの過酷な労働環境に疑問を感じるようになりました。また、私は労働組合にも加盟しており、「保育職場の労働環境と処遇の改善」を求めて、行政と交渉するなどの活動を行ってきました。保育所の労働環境は、そこに子どもを預ける保護者の労働環境に直結します。

社会全体の労働環境が良くならなければ、子どもたちの育つ環境も良くなれない。「子どもたちに明るい未来(あす)を」私が、立候補のキャッチフレーズとして掲げた原点はここにあります。

今後益々の奮闘にワクワクしています

横浜保育問題協議会 会長 辻村久江

“たっちゃん”との出会いは、全国の保育関係者が一堂に会して学びあう「全国保育団体合同研究集会 = 通称・保育合研」の取り組みでした。誠実で、発信力、行動力、仲間に対する共感力はその頃から際立っていました。横浜の保育運動でも中心的存在でしたが、議員活動の奮闘ぶりに議員としての資質を再認識。県内を隈なく駆け回り多くの声を聴き県政に届ける行動力。1 期目にしてこの活動ですから、今後益々の奮闘にワクワクしています。

Action

上野たつや活動記録

2019 4/7 上野たつや初当選



当選の発表を受けて歓喜の声を上げる上野たつやと選挙を支えてくれた党神奈川区後援会とサポーターのみなさん

上野県議が受け継いだバトン

元市会議員 柴田豊勝

上野たつや県会初当選。
1979年定数4で柿原淳子さん当選から40年ぶりの神奈川区からの日本共産党県議誕生。現在、白百合乳児保育園理事長で元県議の柿原さんに当選報告に伺いました。当時、柿原さんは横浜市会初当選から県会に転身。自民、社会の現職に競り勝ち連続当選しました。当時の区委員会選対部長が私（35才）でした。

白百合乳児保育園近くに米軍ミルクプラントの返還運動などがありました。現在、2つの保育園と公園、自転車置き場となっています。



柿原淳子元県議会議員と白百合乳児保育園の前で

5/30 議員記章の交付

上野たつや初登庁。
日本共産党神奈川県議団
の一人として議員活動をス
タート。



5人の日本共産党県議団

9/5 京急事故

宇佐美市議、畑野衆院議員（当
時）と現場に駆け付け、地域住民
から話を伺う。

「道路が狭くなる案内板をわか
りやすく設置した方が良い」との
声を行政に届け、看板設置が実現。



脱線事故当日の現場にて

上野議員 期待通りの活躍

あおぞら谷津保育園 園長 芳尾寛子

保育園関係者で押し上げた上野議員が初めての県議会で初の質問に立つと聞いて、あおぞら保育園の園長会メンバーで傍聴に行きました。期待通り保育の現場の生の声を直接黒岩県知事に届けてくれている姿に感動しました。上野さん（職場ではたっちゃんと呼んでいました）を議員に送り出して本当に良かった心の底から思いました。しかし、知事の回答の冷たさにショック。質問時間をもっと伸ばし「良い回答」を引き出ししていくためにも上野議員に引き続き、何回も当選してもらおうとともに、日本共産党の議員を増やさなければとも思いました。

10/17 ~ 19 韓国カジノ視察

当選後すぐ、「カジノ誘致問題」について学ぶため、日本共産党の横浜市議員団と一緒に韓国のカジノを視察。地域経済の衰退、自殺率の増加から、カジノの負の面を目の当たりにする。横浜にカジノはいらないとの思いを強める。



韓国のカンウォンランド カジノの入り口

11/11 ~ 13 沖縄視察

神奈川県は、沖縄県に次ぐ第2の基地県と言われるほど、重要な施設が集結しています。

米軍基地による影響や弊害の実情について、米軍基地の跡地の街づくりについて、子どもの貧困解消のための取り組みなどを視察しました。



米軍基地跡地の街づくりについて伺う

12/20 対区交渉

12/25 対警察・市交通局交渉

区民アンケートで伺った地域の声をもとに、交渉を行う。

京急線の事故の件では、看板つく京急東神奈川駅の道路に、注意喚起の看板が設置される。



神奈川区当局に区民の地域要求を提出

初めての本会議質問で県知事と対峙。保育環境の改善や校則の見直しや改善、新型コロナウイルス感染症に対応できる感染症病床の増床、神奈川区内の病院にも関わる病院の統廃合を止めるよう求める。65名の傍聴者参加。



たくさんの方が議会傍聴に駆けつけてくれました

5-6月 市内でコロナ禍の実態を聞き取り

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、顕在化した課題や現状について様々な団体から伺う。

5/14には、生活困窮の実態を寿町の診療所で。6/4には、神奈川診療所で医療従事者の実態を伺う。

7/31 JAと矢向保育園の野菜支援

JAの農家のみなさんと矢向保育園（鶴見区）の職員のみなさんの、「コロナ禍で過酷な環境にいる医療従事者のみなさんに、感謝の気持ちを届けたい。」との思いを仲介。野菜支援や手作りタペストリーを届ける。



医療従事者の方々に区民の応援の声を手渡す

9/4 カジノ署名スタート 11/13 カジノ署名提出

カジノの是非は市民が決めるべきと市民の皆さんと署名活動。



県議団を代表しての挨拶（横浜市庁舎前）



「区民の会」として集めた署名を神奈川区へ届ける

11/21 羽沢小 50 周年記念式典

横浜市立羽沢小学校創立 50 周年記念式典に出席。

宇佐美さやか（横浜市会議員）、はたの君枝（前衆議院議員）と共に。



はたの前衆院議員、宇佐美市議、上野県議

1 月 核兵器禁止条約が発効

2021

核兵器を持つことも、使うことも、作ることも違法となる、歴史的な条約が発行される。

この条約には、世界 66 か国が批准しているが、唯一の戦争被爆国である日本は批准していません。（2022 年 9 月現在）

県議会では、「核兵器禁止条約を速やかに署名し批准することを求める意見書採択について」の請願が県民から出されましたが、日本共産党・神奈川ネット以外の政党（会派）は反対。黒岩知事も同様の姿勢を示しています。



核兵器禁止条約発効を記念して東神奈川駅で宣伝

ジェンダー平等社会実現に力を！

神奈川県建設労働組合連合会 書記局 三井敦子（神奈川労連女性センター）

上野さんは、労働組合にあえて女性部がある理由に疑問を抱いていたそうです。行動派の上野さんは疑問をもったら、まず飛び込んでみる！これは議員になった今も活かされていると思います。女性部の全国集会に参加して、目で見て聞いて、共感して、女性部の活動の意義、果たすべき役割を実感。

保育園の保護者の方たちのなかでも女性にケア労働の負担が多いことや、保育の現場が低賃金におかれているのは、財界主導のジェンダー差別的構造があることなどを実感している上野議員は、ジェンダー平等の社会をつくるためにますます力を発揮してくれると期待しています。

4月 横浜きたせん地盤沈下問題の交渉

松見・西寺尾地域では、横浜きたせんの建設をめぐる地元住民の反対運動があり、日本共産党も一緒に取り組んできました。2017年8月には地盤沈下が発生し、この問題を宇佐美市議が取り上げてきました。

4年が経過し、「地盤沈下、建物の亀裂などの影響が未だに続いている。」と、地域の方から訴えがあったため、横浜市と交渉し、住民の不安に応え、寄り添った対応を行うべきと求めました。



市民のみなさんと横浜市当局に対して要請行動

6/11 神奈川区小学校統廃合問題

神奈川区選出議員団会議において、横浜市教育委員会より、斉藤分小学校と二谷小学校を統合する方向性が示され、老朽化した二谷小学校の建替えに伴い、「小規模」校の斉藤分小学校の統廃合を視野に入れたスケジュール案となっていました。

私は「統廃合ありきではなく、保護者、地域住民や子どもの意思を尊重すべき」と主張しました。現在、大学の名誉教授・町内会役員・小学校卒業生や教員・弁護士などが参加をしている「二谷小学校の建替えと斎藤分小学校の統廃合を考える会」が立ち上がり運動が行われています。（私も運動に連帯して活動）

8月 横浜市長選

カジノの是非を問う住民投票条例の制定を求める署名活動を受け継ぎ、カジノ反対を公約に掲げた山中竹春市長が誕生。

市長当選のために全力で応援しました。



市長選勝利のために宇佐美市議と東神奈川駅で宣伝

11/26 津久井やまゆり園視察

相模原市の障がい者施設「津久井やまゆり園」で2016年7月、入所者19人が殺害され、26人が重軽傷を負った事件から、6年が経ちました。(2022年7月現在)

新たに建設された施設を視察し、当事者目線の障がい福祉を充実させるためには、環境を充実させ、職員を増員する必要があることを強く感じました。



やまゆり園へ足を運び施設のレクチャーを受ける

2022

住民要求実現に全力で取り組んでいます！

横浜市民のみなさんの力で誕生させた、山中市長の公約である「3つのゼロ（子どもの医療費・出産費用・敬老パス）」「全員喫食の中学校給食」は、議会の力関係によってその実現が危ぶまれています。

市民の願いは、市長公約の実現です。



神奈川区内の市民運動の集会で連帯の挨拶



発行してきたニュースは60号を超える

公約を守ってほしいの声を市長に届けるために、市民のみなさんとともに署名を集め、運動と議会の両輪で要求実現のために全力を尽くします。

議会活動や住民運動などの報告を、月2回ニュースにして発行し、区民のみなさんにお伝えしてきました。

Q&A

上野たつやに質問



大学ではどんなことを学んだの？

大学では、栄養学を学びながら、教職科目も履修し、「食育」の可能性と基本を学びました。子どもたちに、一緒に食事をする豊かな人間関係と栄養面での充足を与える「食」を大切にする「食育」を担う保育園での就職を志すようになりました。

保育園での9年間の仕事から得たものは？

社会人として働き始めた保育園では、子どもたちの発達を保障し、持っている力を信じ、保護者と一緒に見守っていくこと、食の面でも「給食は保育の一環」であることを学びました。



なぜ日本共産党に入党したの？

保育運動に携わるようになり、みんなで集めた署名が市議会などで無視される現実を実感。保育を良くしようと、いくらみんなで頑張っても政治が変わらないと何も変わらない。自分たちの思いを議会に届けてくれる日本共産党が伸びなければ、と応援する気持ちで入党しました。

仕事を辞めて立候補を決意した理由は？

子どもたちは地域の大人たちに見守られて成長するのに、あまりにも少なすぎる自治体の子育て予算。平和があってこそその保育なのに、戦争する国づくりを進める自公政治。その自公政治に追随し、大企業優遇の黒岩県政。すべての子どもたちが将来に渡って生き生きと輝ける社会、格差のない平和な社会であってほしいという思いから県議選に立候補しました。

教育予算の引き上げを

元高校教員 小林孝生

高校生が学ぶには教室、体育館などの施設や視聴覚機器、コンピュータなどの設備、教材、図書室で利用する図書などの教育環境の整備は大前提です。また、高校で教育に携わる教職員の数や質も求められます。教育行政は教育条件整備に徹し、教育内容については教職員の創意工夫を最大限尊重すべきです。しかし、神奈川県は、この間、「口は出すがお金は出さない」という政策をとり続けています。生徒により良い教育を保障するためには、全国最低レベルの教育予算を抜本的に引き上げることが必要です。

上野たつや県議には、高校生と保護者、教職員の願いを県政の場で実現していただきたいです。

県民の声を議会へ

佐藤照子（上野議員母）

2019年4月7日党の事務所で応援者の皆さんとテレビの速報を見ていました。当選のテロップが流れ一斉にバンザイをした、あの日から3年以上の月日が流れました。当選した時は何かきつねにつままれたような気持でした。10カ月後に初めて議会の傍聴に行った際にはすらすらと的確に質問している姿に驚愕させられました。ひとえに皆様方の力添えのたまものと思っています。日々勉強しながら皆さま方の声をより多く議会に届けられるように頑張っています。と思っています。

良き未来のために

新婦人内後援会

前田みどり（ヴァイオリン 講師）

県会議員として大活躍中の上野議員。新婦人内後援会員からは「フットワークがいい」「人との接し方が柔らかでいい」「県民の要望を受けとめ、すばやく対応できる人」「太鼓、ギター、歌もできて格好いい」等の声が寄せられています。結婚の際には、お二人で相談して彼女の姓（上野）を名乗ることにされました。名字を変えることに抵抗はなかったそうですが、その後の手続きの大変さに「世の女性達は、こんなめんどくさいことをやっているのか」と思われた、とのこと。ジェンダー平等が注目される今、不利益をこうむる女性の立場も理解できる上野議員。女性や子どものもより良き未来のためにも是非再選を！

新婦人内後援会員みんなで応援しています。

医療従事者への慰労金

一般社団法人ヒューメディカ

代表理事 唐澤淳子

最初薬局薬剤師への県からの慰労金の話が出たときに、「病院と同じに外来で患者と接しているのになぜ自分達は慰労金もらえないのか？」と薬剤師や事務職員に詰め寄られました。その後、事務職員や登録販売者にも慰労金が出ることになりました。これは、全国的に見ても5件しか実行されていないことです。自分たちの仕事が評価されたと職員も元気づきました。お金の額ではないのです。これからも県民の声をひらいて素晴らしい活動を期待しています。

毅然と立ち向かう強さ 井坂しんや 県議会議員（横須賀市）



童顔でやさしい雰囲気。上野さんの第一印象です。保育園の栄養士という子どもたちと接する場所から、いきなり県議会に来て、戸惑うことも多かったと思います。とくに県議会は105人の議員の内、自民党が50人、共産党5人。自民党の圧力が強い中での活動です。

しかし、上野さんはやさしく、やわらかな雰囲気だけではなく、おかしなものには毅然と立ち向かう強さ、厳しさも持っています。また、目の前の課題に向き合い、誠実に取り組む姿勢も持っています。

2020年度、建設企業常任委員会というこれまでの経歴とは全く違う分野の委員会に所属しましたが、自分が納得のいくまで調べること、関連法令や条例、制度などを調べ、それに基づいて質問する姿勢、わからないことは率直に聞くことなど、議員として真面目に取り組む姿勢はとても頼もしく感じました。

議員は特別な人になるものではなく、市民・県民の声を議会に届け、市民・県民の苦難軽減のためにまじめに取り組む人が必要だと思います。親しみやすく、いろいろな人に溶け込む人柄は議員として大切な要素ですので、そんな上野さんらしい議員の姿を多くの人に見せてほしいと思います。上野さんの活躍を期待しています。

実直でひたむき 石田和子 県議会議員（川崎市高津区）

資料の整理が上手で、ファイルからすぐに資料が出てくる上野さん、パソコンの扱いがわからない時に私の SOS にすぐ答えてくれる上野さん、そんな上野さんは質問に真摯に取り組みます。アスベストの問題を取り上げたときに何度も建設組合に出かけて、実態をつかみ勉強して臨んだ質問でした。

カジノの問題では韓国に行って、いかに街を崩壊させるかを肌で感じて質問しました。現場主義で、議員としてのセンスの良さがうかがえる。議員として伸びると直感しています。なんとしても2期目も勝ち抜いて欲しい！



熱い情熱と誠意の人 大山奈々子 県議会議員（横浜市港北区）



上野さんは視察や諸団体との懇談の機会があれば、時間に許す限り参加し、県民の実態や現場を知りたいという情熱と誠意を感じます。分析力や論戦力はとても1期目の議員とは思えません。卓越した資料整理能力、IT 機器を駆使する能力は周りの議員を大いに助けています。

娘さんとメロメロになって話している姿を見ますが、諸方面から請われたら必ず駆けつける人だから、しっかり遊んであげられる時間があるのかなと心配です。

理論的なのに優しい 君嶋ちか子 県議会議員（川崎市中原区）

上野さんは突然すい星のように現れた感がありました。3年身近に見て、「短期間で皆さんの大きな支持を得て議席に結び付くのも、納得できるな」というのが感想。仕事ぶりは緻密で丁寧（見習いたい！）、論理的にもポイントをしっかり押さえます。そして人に対する優しさを持っています。かつ「いい子」だけに終わらず、異議を唱えるべき場面では声を上げます（私はここに注目しています）。



県議会に**日本共産党**が必要です。

県民の願い（請願・陳情）に対する主要会派の態度 （2022/7/31 現在） ○=賛成 △=継続 ×=不採択 /=所属なし

	共産	自民	立民	公明	民主	神奈
県の小児医療費助成制度の拡充についての請願	○	×	×	×	×	×
再生可能エネルギー推進に向けた国への意見書の提出を求める請願	○	×	×	×	×	○
教育格差を無くし、子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願	○	×	×	×	×	×
「幼児教育・保育の無償化」にともなう給食副食費の実費徴収による保護者負担軽減のための助成を求める陳情	○	×	×	×	×	/
国に対して、公立・公的病院の「再編・統合」の強制を改めることの見直しを求める陳情	○	×	×	×	×	×
選択的夫婦別姓の導入など、一日も早い民法改正を求める意見書提出の陳情	○	△	△	△	△	△
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」を採択し、国に意見書を提出することを求める陳情	○	×	×	×	×	/
後期高齢者医療保険の窓口負担を2割に引き上げる改正法の実施中止についての意見書を国へ提出することを求める陳情	○	×	×	×	×	×

日本共産党の提案（意見書）に対する主要会派の態度 （2022/7/31 現在） ○=賛成 ×=反対

	共産	自民	立民	公明	民主	神奈
LGBTの差別解消に関する法律の成立を求める意見書(案)	○	×	×	×	×	×
IR推進関連法の廃止を求める意見書(案)	○	×	×	×	×	○
選択的夫婦別姓制度の法制化に関する意見書(案)	○	×	×	×	×	×
石炭火力発電所の新增設計画の中止を求める意見書(案)	○	×	×	×	×	○
緊急避妊薬へのアクセスの改善に関する意見書(案)	○	×	×	×	×	×
消費税5%への減税とインボイス制度の導入中止を求める意見書(案)	○	×	×	×	×	×

〈共産〉日本共産党、〈自民〉自由民主党、〈立民〉立憲民主党・民権クラブ、〈公明〉公明党、〈民主〉かながわ県民・民主フォーラム（国民民主含む）、〈神奈〉神奈川ネットワーク運動

上野さんは、県民のみなさんの苦難を軽減しようと、様々なご意見やご要望を伺い、実現させるために奮闘してきました。これからも、みなさんの声を神奈川区から、直接議会に届ける仕事を宇佐美と一緒にさせてください。



横浜市議員 **宇佐美さやか**